

2つの分校 閉校となる

木津小学校には、市坂・鹿背山・梅谷の3つの分教場がありました。そのうち市坂分教場は、明治23年に設置され明治26年に廃校になっています。鹿背山、梅谷分教場が開校したのは、明治28年5月11日のことです。開校当時から、第2学年以下の児童がここで学びました。梅谷分校は開校より100年、鹿背山分校は開校より119年という長い歴史を刻み閉校となりました。梅谷分校は平成7年、鹿背山分校は平成26年のことです。



在りし日の鹿背山分校

GIGA スクール構想

文部科学省が推進する GIGA スクール構想は、「Global and Innovation Gateway for All (すべての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)」を意味します。デジタル教科書やAIドリルの導入も含めての改革案でした。この構想は、当初、令和元年から5年間かけて順次ハード環境を整備する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてオンラインを活用した授業や学習への必要性が高まったことから、端末導入のスケジュールを大幅に前倒しすることになりました。



タブレット端末を操作して学習

木津小学校においても、令和2年度より一人一台端末、高速大容量回線やクラウド活用が整備され、現在、新学習指導要領が目指す「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向けて取り組んでいるところです。

新校舎落成

木津小学校の校舎は、昭和時代後半に建築された建物であり老朽化が進んでいる状態でした。令和時代に入ってすぐ学校の校舎配置計画を見直し、南・北校舎解体及び新校舎建築に向けて工事が進められました。

そして、令和5年3月28日、雲一つない晴天の下『新校舎竣工式』が盛大に執り行われ、待ちに待った喜びの日を迎えました。これから先、子どもたちの安全と健やかな成長を見守りながら、共に歴史を刻んでゆく新校舎。伝統ある木津小学校の学び舎として大切にしていきます。

